

調査票（案）

- 国から示された「調査票のイメージ」を、松山市の子ども・子育て関係課が加筆・修正等を加えたもの。
- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定
- 施設・事業の名称については、松山市で親しまれている名称に変更。

「人が集い 笑顔 広がる 幸せ実感都市 まつやま」の次代を担う子どもたちのために！

「松山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力のお願い～

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成24年8月に、子ども・子育て支援法など子ども・子育て関連3法が成立し、この法律に基づく新制度が、早ければ平成27年度からスタートする予定です。

新制度の導入にあたっては、国が定める「基本指針」に基づいて、松山市の幼児期の学校教育・保育や子育て支援の需要等を踏まえた、「松山市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

そこで、市民の皆様の子育て状況や、子ども・子育てに関するご要望・ご意見等を把握するためのアンケート調査を実施することにいたしました。

なお、この調査は、市内にお住いの就学前のお子さんの中から無作為に選ばせていただいております。

また、ご記入していただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見が、今後の松山市の子ども・子育て支援の在り方を検討する上で、極めて重要な資料になりますので、ご多忙とは存じますが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

松山市長 野志 克仁

<このアンケート調査について>

1. この調査は、市内にお住いの小学校就学前(平成19年4月2日～平成25年4月1日生まれ)のお子さんと小学校に通われているお子さん(平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれ)の中から、無作為で約10,000人を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
2. ご返送いただいた調査票は、松山市及び委託業者(株式会社いよぎん地域経済研究センター)のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
3. ご回答いただいた内容(施設やサービスの利用状況・利用希望等)が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、**11月29日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 保健福祉部 保健福祉政策課

〒790-8571

松山市二番町四丁目7-2

電話:089-948-6867 FAX:089-934-1832

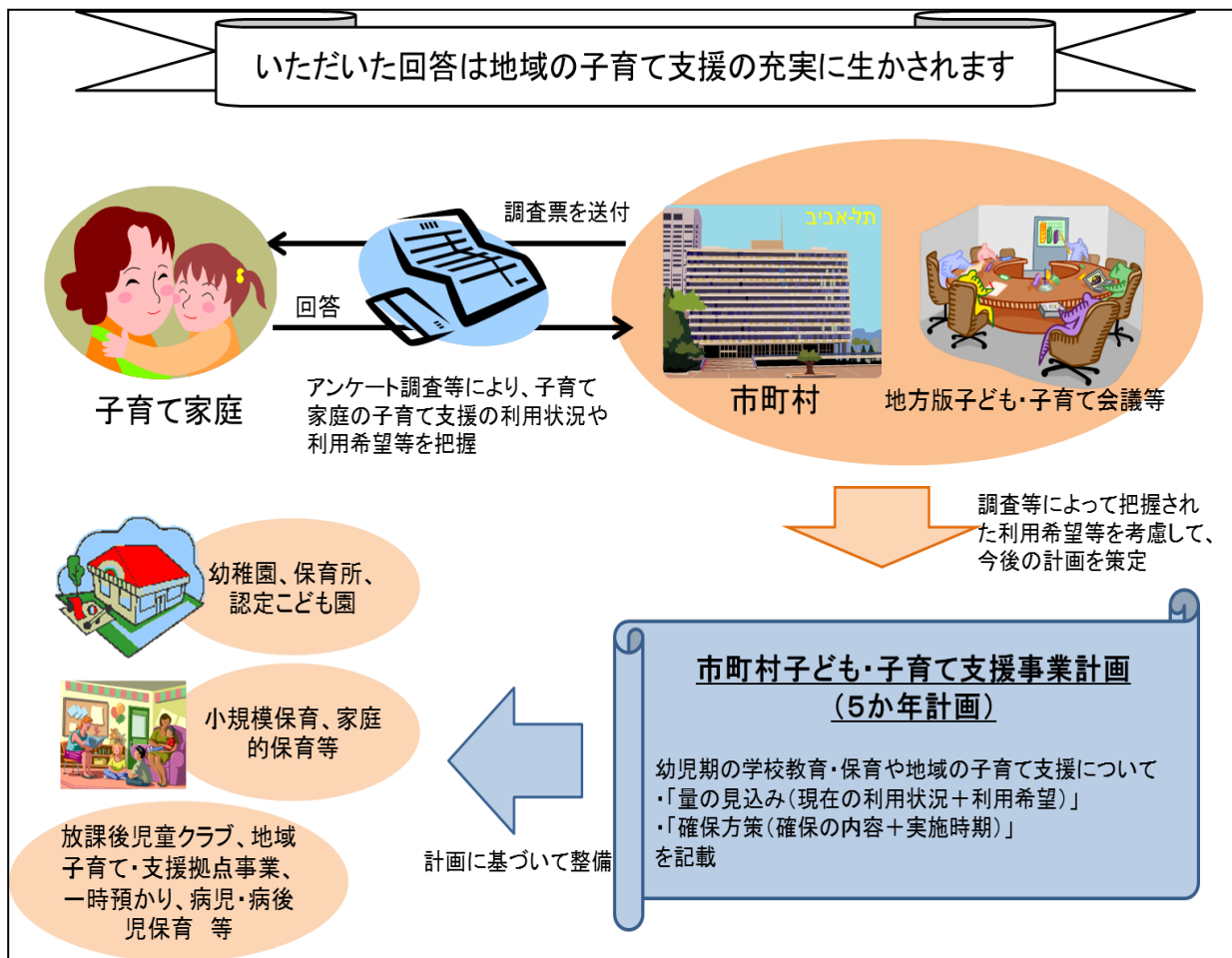
E-mail:hokenseisaku@city.matsuyama.ehime.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いいたします。

<ご記入にあたってのお願い>

1. 特に断りのある場合を除き、アンケートには、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. アンケートには、皆さまのお名前を書きいただく欄はありません。(無記名によるアンケート調査)率直なご意見・ご要望をお聞かせください。
3. 回答にあたっては、黒または青のボールペン、黒い鉛筆等ではっきりとご記入ください。修正される場合は、二重線で訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。
4. 回答方法には、選択肢の中から選んで当てはまる番号に○印をつけていただく場合と、【 】内に数字を記入していただく場合とがあります。
5. 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数が設問によってことなりますので、ご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後にある()に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。(設問は問27まであります)

<今回の調査の仕組み>



【子ども・子育て支援新制度の概要】

<子育て環境をめぐる課題>

1. 急速な少子化の進行
2. 保護者の就労形態の多様化による、幼児期の学校教育や保育の提供体制への対応不足
3. 子ども・子育て支援が質・量ともに不足
4. 都市部での待機児童の発生と地方での子どもの減少



こうした課題を解決するために

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月から実施される予定です。

<新制度の3つのポイント>

1. 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
 - ・幼稚園と保育所の良さをあわせもつ「認定こども園」制度を改善し、普及を進める
2. 保育の量的拡充、教育・保育の質の改善
 - ・保育所認可制度の改善、小規模保育事業の拡充、職員配置基準の改善等
3. 地域の子ども・子育て支援の充実
 - ・「放課後児童クラブ」、「一時預かり」等の子育て支援事業の充実

【用語の定義】

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
認可外保育施設	児童福祉法に定める、保育することを目的とした施設のうち、認可を受けていない施設
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問6-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問6-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問7へ |

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |) ⇒ 問7へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか不安がある | |
| 6. その他 (| |

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<div style="font-size: 2em;">}</div> ⇒ (1) -1へ
<div style="font-size: 2em;">}</div> ⇒ (2)へ	

(1)ー1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください。)

1週当たり 【 】日	1日当たり 【 】時間
----------------	-----------------

(1)ー2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください) (【 】内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 【 】時頃	～	帰宅時間 【 】時頃
------------------	---	----------------

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入不要です】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問11へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を
 お答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多い
 パターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前
 の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください。)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	----------	-------	-----------

(2)-2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。
 (例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください)
 (【 】内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時間	【 】時頃
--------	-----------	---	------	-----------

問9 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)
 に○をつけた方にうかがいます。「1. 2.」を選んだ方は問11へ、「5. 6.」を
 選んだ方は問10へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、
2. 3. を選択した場合は、「希望する就労形態」についてもご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 「希望する就労形態」
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間
 - ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
- 「希望する就労形態」
- ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 - イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間
 - ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問11-1に示した事業が含まれます。

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問11-1へ 2. 利用していない ⇒ 問11-6へ

問11-1 問11-1～問11-5は、問11で「1. 利用している」に○をつけた方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。当てはまるすべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(ただし、通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的に利用している場合のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 家庭的保育
(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. 認可外の保育施設(地域保育所) | 8. 居宅訪問型保育【ベビーシッター】
(保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 9. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) | |
| 10. その他 () | |

問11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。

また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、【 】内に具体的な数字でご記入ください。

時間は、必ず(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。

なお、複数利用している場合は、通算してご記入ください。

(1) 現在

1週当たり 【 】日 1日当たり 【 】時間 (【 】時～【 】時)

(2) 希望

1. 現在の利用状況のままでよい
2. 下記の利用時間を希望する

1週当たり 【 】日 1日当たり 【 】時間 (【 】時～【 】時)

問11-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。
「1.」「2.」「3.」のいずれかに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 居住地の小学校地区内 | 2. 1. 以外の松山市内 |
| 3. 他の市町 | |

問11-4 宛名のお子さんを預ける場所は、どこが理想ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-----------|------------|-----------|
| 1. 自宅周辺 | 2. 勤務場所周辺 | 3. JR松山駅周辺 | 4. 松山市駅周辺 |
| 5. 自宅の最寄り駅周辺 | 6. その他（ | | ） |
| 7. 立地条件は考慮しない | | | |

問11-5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。
主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|---|
| 1. 子どもの教育や発達のため | |
| 2. 保護者が現在就労している | |
| 3. 保護者が就労予定がある／求職中である | |
| 4. 保護者が家族・親族などを介護している | |
| 5. 保護者が病気や障がいがある | |
| 6. 保護者が学生である | |
| 7. その他（ | ） |

問11-6 問11で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
利用していない理由は何ですか。
理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 利用する必要がない（子どもの母親か父親が就労していないなど） | |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている | |
| 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている | |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業にあきがない | |
| 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない | |
| 6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない | |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない | |
| 8. 子どもがまだ小さいため【 】歳くらいになったら利用しようと考えている | |
| 9. その他（ | ） |

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。**

- 問14 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住いの地域で実施されていないものもあります。

		A	B	C
		知っている	これまでに利用 したことがある	今後利用したい (継続利用も含む)
①	子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②	子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③	親子ふれあいタイム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④	ファミリー・サポート・センター事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤	養育支援訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥	一時預かり事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦	延長保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧	病児・病後児保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨	ショートステイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩	放課後児童クラブ（学童保育）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪	放課後子ども教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫	こんにちは赤ちゃん訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬	はじめてのママのための教室、 はじめてのパパ・ママのための 教室(保健所で実施しているもの)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭	保健所・保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮	子ども総合相談(青少年センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯	ほっとHOTひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰	子育てマップ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱	児童館・児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲	幼稚園の子育て支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問14-1 問14で、「①」～「⑨」の事業の中で、Bの「利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。
 (Bですべて「いいえ」を選んだ方は、問14-2へお進みください)
 現在、利用している事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	子育てひろば	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
②	子育て支援センター	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
③	親子ふれあいタイム	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
④	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑤	養育支援訪問事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑥	一時預かり事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑦	延長保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑧	病児・病後児保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑨	ショートステイ事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または

問14-2 問14で、「①」～「⑨」の事業の中で、Cの「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。
 (Cですべて「いいえ」を選んだ方は、問15へお進みください)
 今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	子育てひろば	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
②	子育て支援センター	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
③	親子ふれあいタイム	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
④	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑤	養育支援訪問事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑥	一時預かり事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑦	延長保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑧	病児・病後児保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑨	ショートステイ事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または

問15 お子さんの子育てに関して、松山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 育児サークル等が継続的に利用できる場所がほしい
2. 児童館など親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい
3. 子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい
4. 子どもについての情報が得られる場や学べる機会がほしい
5. 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい
6. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
7. 保育所や幼稚園に係る費用負担を軽減してほしい
8. その他 ()

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

- 問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。
希望がある場合は、利用したい時間帯を、「（例）09時～18時」のように24時間制で【 】内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などでの教育・保育を行うことを指しますが、親族・知人による預りは含みません。

（1）土曜日

- | | | | | | |
|-----------------|---|---|----------|----------|----------|
| 1. 利用する必要はない | } | ⇒ | 利用したい時間帯 | | |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | | 【 】時から | 【 】時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | | | |

（2）日曜・祝日

- | | | | | | |
|-----------------|---|---|----------|----------|----------|
| 1. 利用する必要はない | } | ⇒ | 利用したい時間帯 | | |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | | | 【 】時から | 【 】時まで |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | | | | |

- 問16-1 問16の（1）もしくは（2）で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 3. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他（ ） | |

問17 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

(利用されていない場合は、問20へ)

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。

希望がある場合は、利用したい時間帯を、「(例) 09時～18時」のように24時間制で【 】内に数字でご記入ください。

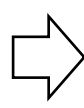
また、選択肢「3」を選んだ方は、1週間当たり利用したい日数を【 】内にご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



利用したい時間帯

【 】時から【 】時まで



1週間当たり利用したい日数 【 】日程度

問17-1 問17で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため

2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため

3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため

4. 息抜きのため

5. その他 ()

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問18 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で1に○をつけた方）にうかがいます。
利用していられない方は問21にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ **問18-1** 2. なかった ⇒ **問19へ**

問18-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も【 】内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数（年間）	
ア. 父親が休んだ	【 】日	} 問18-2へ
イ. 母親が休んだ	【 】日	
ウ. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	【 】日	
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	【 】日	} 問18-5へ
オ. 病児・病後児の保育を利用した	【 】日	
カ. ベビーシッターを利用した	【 】日	
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	【 】日	
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	【 】日	
ケ. その他（ ）	【 】日	

問18-1で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問18-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても【 】内に数字でご記入ください。
※なお、病児・病後児のための事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 利用したいと思った ⇒ 【 】日 ⇒ **問18-3へ**
2. 利用したいとは思わなかった ⇒ **問18-4へ**

問18-3 問18-2で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われ
ますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
- 2. 小児科等の医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業
- 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等）
- 4. その他（ ）

⇒ **問19へ**

問18-4 問18-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
- 2. 地域の事業の質に不安がある
- 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない
- 4. 利用料がかかる・高い
- 5. 利用料がわからない
- 6. 保護者が仕事を休んで対応する
- 7. その他（ ）

⇒ **問19へ**

問20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。
 利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、利用目的ごとの内訳の日数を【 】内に数字でご記入ください。）。
 なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計【 】日（年間） （ア～エの合計）
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等習い事等）、リフレッシュ目的	【 】日（年間）
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	【 】日（年間）
ウ. 不定期の就労	【 】日（年間）
エ. その他（ ）	【 】日（年間）
2. 利用する必要はない ⇒ 問21へ	

問20-1 問20で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 問20の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれかの事業形態が望ましいと思われ
 れますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園での保育	2. 認可保育所での保育	3. 認可外保育施設での保育
4. 小規模での保育事業（保育者の家庭等での保育など）		
5. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業 （例：ファミリー・サポート・センター）		
6. その他（ ）		

問21 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。
 あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も【 】内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数（年間）
1. あった	ア. （同居者を含む）親族・知人にみてもらった	【 】泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	【 】泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	【 】泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	【 】泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	【 】泊
	カ. その他（ ）	【 】泊
2. なかった		

宛名のお子さんが小学生になった時の 放課後の過ごし方についてうかがいます。

問22 宛名のお子さんが、小学生になった時、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思っ
ていますか。

下記（選択肢1から9）から選択し、学年別に選択した番号すべてを記入してください。

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

※「7. 放課後児童クラブ」は平成27年度より、小学6年生まで利用可能となります。

	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生
番号						

<選択肢>

- | | | | |
|--------------------|---------------------------|-----------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 祖父母宅 | 3. 友人・知人宅 | 4. 児童館・児童センター |
| 5. スポーツ少年団・文化クラブ | 6. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾） | | |
| 7. 放課後児童クラブ（学童保育） | 8. 放課後子ども教室 | | |
| 9. ファミリー・サポート・センター | | | |
| 10. その他（ | | | ） |

問23 宛名のお子さんについて、問22で選んだ場所で過ごさせたいと希望するのは、

週何日ぐらいですか。選択した番号に対応する表の内に数字でご記入ください。

なお、「7. 放課後児童クラブ」については、何時まで利用を希望するかも数字でご記入ください。
時間は必ず「（例）18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答
えください。）

※将来のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
1.	自宅	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
2.	祖父母宅	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
3.	友人・知人宅	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
4.	児童館・児童センター	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
5.	スポーツ少年団・文化クラブ	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
6.	習い事	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
7.	放課後児童クラブ（学童保育）	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
		時まで	時まで	時まで	時まで	時まで	時まで
8.	放課後子ども教室	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
9.	ファミリー・サポート・センター	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日
10.	その他（	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日	週 日

問24 問22または問23で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、当てはる欄に1つに○を記入してください。また、利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09～18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答えください）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 1年生までは利用したい。	}	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。		
3. 3年生までは利用したい。		
4. 4年生までは利用したい。		
5. 5年生までは利用したい。		
6. 6年生までは利用したい。		
7. 利用する必要はない		

(2) 日曜日・祝日

1. 1年生までは利用したい。	}	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。		
3. 3年生までは利用したい。		
4. 4年生までは利用したい。		
5. 5年生までは利用したい。		
6. 6年生までは利用したい。		
7. 利用する必要はない		

問25 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09時～18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 1年生までは利用したい。	}	利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。		
3. 3年生までは利用したい。		
4. 4年生までは利用したい。		
5. 5年生までは利用したい。		
6. 6年生までは利用したい。		
7. 利用する必要はない		

すべての方に、育児休業や短時間勤務制など 職場の両立支援制度についてうかがいます。

問26 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をご記入ください。また、取得していない方は、1~14の中からその理由の番号をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 妊娠・出産に関わらず就労していなかった 2. 就労形態（パート等）により、産前産後・育児休業制度がないため退職した 3. 取得した（取得中である） 4. <u>取得していない</u>	1. 就労していなかった 2. 就労形態（パート等）により、育児休業制度がないため退職した 3. 取得した（取得中である） 4. <u>取得していない</u>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも） </div>

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 13. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得出来ることを知らず、退職した
- 14. その他（ ）

問26-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険料の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
- 2. 育児休業給付のみ知っていた
- 3. 保険料免除のみ知っていた
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問26で「3. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問27へ

問26-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問26-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問26-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。いずれか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、年度途中で復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった	2. それ以外だった
-------------------------	------------

問26-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。【 】内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 【 】歳【 】ヶ月	希望 【 】歳【 】ヶ月
-------------------	--------------

(2) 父親

実際の取得期間 【 】歳【 】ヶ月	希望 【 】歳【 】ヶ月
-------------------	--------------

問26-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。【 】内に数字でご記入ください。

(1) 母親

【 】歳 【 】ヶ月

(2) 父親

【 】歳 【 】ヶ月

問26-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問26-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため | |
| 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため | |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため |
| 6. その他 () |

②父親

- | |
|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため |
| 6. その他 () |

問26-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問26-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問26-7で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問26-8 短時間勤務を利用しなかった理由は何ですか。
当てはまる番号をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった（職業規則に定めがなかった） |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他（ ） |

(2) 父親

- | |
|--|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった（職業規則に定めがなかった） |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他（ ） |

問27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。

「人が集い 笑顔 広がる 幸せ実感都市 まつやま」の次代を担う子どもたちのために！

「松山市子ども・子育て支援に関するアンケート調査」

～調査ご協力のお願ひ～

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成24年8月に、子ども・子育て支援法など子ども・子育て関連3法が成立し、この法律に基づく新制度が、早ければ平成27年度からスタートする予定です。

新制度の導入にあたっては、国が定める「基本指針」に基づいて、松山市の幼児期の学校教育・保育や子育て支援の需要等を踏まえた、「松山市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

そこで、現在子育てをされている皆さまに、子育て支援に関する考えやご意見をお尋ねし、計画策定に向けた基礎資料を得るためのアンケート調査を実施することにいたしました。

なお、この調査は、市内にお住いの就学前のお子さんの中から無作為に選ばせていただいております。

また、ご記入していただいた内容について、個々の調査票を公表したり、調査の目的以外に使用したりすることは、一切ございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見が、今後の松山市の子ども・子育て支援の在り方を検討する上で、極めて重要な資料になりますので、ご多忙とは存じますが調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

松山市長 野志 克仁

<このアンケート調査について>

1. この調査は、市内にお住いの小学校就学前(平成19年4月2日～平成25年4月1日生まれ)のお子さんと小学校に通われているお子さん(平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれ)の中から、無作為で約10,000人を選ばせていただき、その保護者の皆さまにご協力をお願いしています。
2. ご返送いただいた調査票は、松山市及び委託業者(株式会社いよぎん地域経済研究センター)のみが、厳重な情報管理体制の下で、漏えい・紛失等のないよう適切に取り扱います。また、ご回答いただいた内容を調査目的以外に使用することは一切ありません。
3. ご回答いただいた内容(施設やサービスの利用状況・利用希望等)が、実際の施設やサービスの利用の可否などに影響することは一切ありません。

ご記入が済みましたら、お手数ですが、**11月29日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて切手を貼らずにご投函ください。

この調査票についてご不明な点などがございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

松山市 保健福祉部 保健福祉政策課

〒790-8571

松山市二番町四丁目7-2

電話:089-948-6867 FAX:089-934-1832

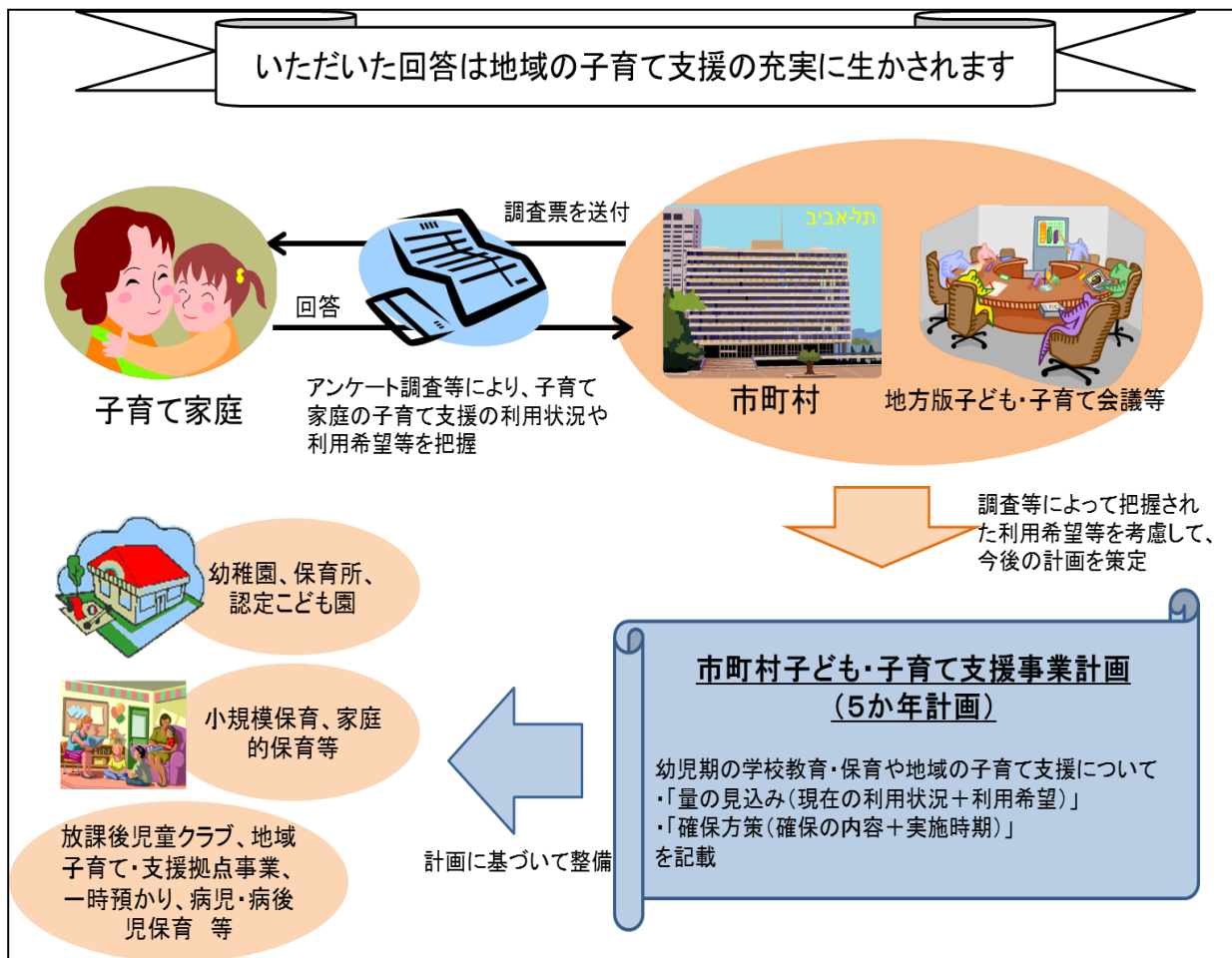
E-mail:hokenseisaku@city.matsuyama.ehime.jp

※お電話によるお問い合わせは、平日午前8時30分から午後5時15分の間をお願いいたします。

<ご記入にあたってのお願い>

1. 特に断りのある場合を除き、アンケートには、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. アンケートには、皆さまのお名前を書きいただく欄はありません。(無記名によるアンケート調査)率直なご意見・ご要望をお聞かせください。
3. 回答にあたっては、黒または青のボールペン、黒い鉛筆等ではっきりとご記入ください。修正される場合は、二重線で訂正したうえで、正しい回答をご記入ください。
4. 回答方法には、選択肢の中から選んで当てはまる番号に○印をつけていただく場合と、【 】内に数字を記入していただく場合とがあります。
5. 選択肢の中から選んでいただく場合には、選んでいただく数が設問によってこととなりますので、ご注意ください。また、選択肢で「その他」を選ばれた場合は、その後にある()に具体的な内容をご記入ください。
6. 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。説明文に従ってお進みください。(設問は問27まであります)

<今回の調査の仕組み>



【子ども・子育て支援新制度の概要】

<子育て環境をめぐる課題>

1. 急速な少子化の進行
2. 保護者の就労形態の多様化による、幼児期の学校教育や保育の提供体制への対応不足
3. 子ども・子育て支援が質・量ともに不足
4. 都市部での待機児童の発生と地方での子どもの減少



こうした課題を解決するために

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が成立し、3法に基づく「子ども・子育て支援新制度」が、平成27年4月から実施される予定です。

<新制度の3つのポイント>

1. 質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供
 - ・幼稚園と保育所の良さをあわせもつ「認定こども園」制度を改善し、普及を進める
2. 保育の量的拡充、教育・保育の質の改善
 - ・保育所認可制度の改善、小規模保育事業の拡充、職員配置基準の改善等
3. 地域の子ども・子育て支援の充実
 - ・「放課後児童クラブ」、「一時預かり」等の子育て支援事業の充実

【用語の定義】

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
認可外保育施設	児童福祉法に定める、保育することを目的とした施設のうち、認可を受けていない施設
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項)
子育て	教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
教育	問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住いの住所（町名）を記入してください。
記入例： 松山市 【 二番町4丁目 】

松山市 【 町 丁目 】

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。
（【 】内に数字でご記入ください。）

平成 【 】年 【 】月生まれ

問3 この調査票にご回答いただいている方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ ）

問4 この調査票にご回答いただいている方以外に同居している方（宛名のお子さん
から見た続柄）についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父 2. 祖母 3. 母親 4. 父親 5. 1～4の兄弟または姉妹
6. 宛名の子ども兄弟または姉妹 7. その他（ ）

問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。
お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } ⇒ 問6-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際のみ祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } ⇒ 問6-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない | ⇒ 問7へ |

問6-1 問6で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担があり心配である |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担があり心配である |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか不安がある |
| 6. その他 () |

⇒ 問7へ

問6-2 問6で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、
安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人は
いますか。また、相談できる場所がありますか。
当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇒ **問7-1** 2. いない／ない ⇒ **問8へ**

問7-1 問7で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て（教育を含む）に関する相談先は、誰（どこ）ですか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人 3. 近所の人
4. 子育て支援施設（児童館等） 5. NPO法人
6. 保健所・保健センター分室（南部・北条・中島）
7. 小学校教諭等
8. 民生委員・児童委員 9. かかりつけの医師
10. 自治体の子育て関連担当窓口
11. その他（ ）

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親の就労状況 【父子家庭の場合は記入は不要です】
当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<div style="font-size: 2em;">}</div> ⇒ (1) -1へ
<div style="font-size: 2em;">}</div> ⇒ (2)へ	

(1)ー1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください。)

1週当たり 【 】日	1日当たり 【 】時間
----------------	-----------------

(1)ー2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。(例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください) (【 】内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻 【 】時頃	～	帰宅時間 【 】時頃
------------------	---	----------------

(2) 父親の就労状況 【母子家庭の場合は記入不要です】
 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	⇒ (2) -1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	⇒ 問11へ
6. これまで就労したことがない	

(2)-1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」を
 お答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多い
 パターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前
 の状況についてお答えください。
 (【 】内に数字でご記入ください。)

1週当たり	【 】日	1日当たり	【 】時間
-------	----------	-------	-----------

(2)-2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。
 家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
 時間は、必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
 ただし、帰宅時刻が日付を越える場合を除く。
 (例えば“翌日1時”に帰宅される場合は“25時”とご記入ください)
 (【 】内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻	【 】時頃	～	帰宅時間	【 】時頃
--------	-----------	---	------	-----------

問9 問8の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)
 に○をつけた方にうかがいます。「1. 2.」を選んだ方は問11へ、「5. 6.」を
 選んだ方は問10へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、 実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、 実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問10 問8の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。
該当しない方は、問11へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、
2. 3. を選択した場合は、「希望する就労形態」についてもご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、子どもが【 】歳になったころに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

「希望する就労形態」

ア. フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)

イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)

→1週当たり【 】日 1日当たり【 】時間

ウ. 就労形態までは、まだ考えていない

**宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の
利用状況についてうかがいます。**

- 問11 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。
①～⑱の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住いの地域で実施されていないものもあります。

		A	B	C
		知っている	これまでに利用したことがある	今後利用したい (継続利用も含む)
①	子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②	子育て支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③	親子ふれあいタイム	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④	ファミリー・サポート・センター事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤	養育支援訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥	一時預かり事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦	延長保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧	病児・病後児保育事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨	ショートステイ事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩	放課後児童クラブ(学童保育)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪	放課後子ども教室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫	こんにちは赤ちゃん訪問	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬	はじめてのママのための教室、 はじめてのパパ・ママのための 教室(保健所で実施しているもの)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭	保健所・保健センターの情報・相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮	子ども総合相談(青少年センター)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑯	ほっとHOTひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑰	子育てマップ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑱	児童館・児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑲	幼稚園の子育て支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問11-1 問11で、「①」～「⑨」の事業の中で、Bの「利用したことがある」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。
 (Bですべて「いいえ」を選んだ方は、問11-2へお進みください)
 現在、利用している事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	子育てひろば	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
②	子育て支援センター	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
③	親子ふれあいタイム	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
④	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑤	養育支援訪問事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑥	一時預かり事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑦	延長保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑧	病児・病後児保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑨	ショートステイ事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または

問11-2 問11で、「①」～「⑨」の事業の中で、Cの「今後利用したい」に「はい」を選んだ内容についてうかがいます。
 (Cですべて「いいえ」を選んだ方は、問15へお進みください)
 今後利用したい事業のおおよその利用回数(頻度)を【 】内に数字でご記入ください。

①	子育てひろば	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
②	子育て支援センター	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
③	親子ふれあいタイム	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
④	ファミリー・サポート・センター事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑤	養育支援訪問事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑥	一時預かり事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑦	延長保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑧	病児・病後児保育事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または
⑨	ショートステイ事業	1週間当たり 1カ月当たり	【 】回 【 】回	または

問12 お子さんの子育てに関して、松山市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 育児サークル等が継続的に利用できる場所がほしい
2. 児童館など親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい
3. 子どもと一緒に楽しめるイベントを増やしてほしい
4. 子どもについての情報が得られる場や学べる機会がほしい
5. 誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスがほしい
6. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい
7. 学校や児童クラブ等に係る費用負担を軽減してほしい
8. その他 ()

問13-3 問13-2で「1. 病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われ
ますか。
当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2. 小児科等の医療機関に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

⇒ **問14へ**

問13-4 問13-2で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。
そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2. 地域の事業の質に不安がある |
| 3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間
日数など）がよくない | 4. 利用料がかかる・高い |
| 5. 利用料がわからない | 6. 保護者が仕事を休んで対応する |
| 7. その他（ ） | |

⇒ **問14へ**

問16 問14または問15で「7. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。

(1) (2) それぞれについて、当てはる欄に1つに○を記入してください。
また、利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09～18時」のように24時間制でご記入ください。（現在の利用可能時間に限らずお答えください）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

(1) 土曜日

1. 1年生までは利用したい。	} 利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。	
3. 3年生までは利用したい。	
4. 4年生までは利用したい。	
5. 5年生までは利用したい。	
6. 6年生までは利用したい。	
7. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 1年生までは利用したい。	} 利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。	
3. 3年生までは利用したい。	
4. 4年生までは利用したい。	
5. 5年生までは利用したい。	
6. 6年生までは利用したい。	
7. 利用する必要はない	

問17 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。

また利用したい時間帯を、【 】内に「(例)09時～18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 1年生までは利用したい。	} 利用したい時間帯 【 】時から【 】時まで
2. 2年生までは利用したい。	
3. 3年生までは利用したい。	
4. 4年生までは利用したい。	
5. 5年生までは利用したい。	
6. 6年生までは利用したい。	
7. 利用する必要はない	

問18 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

次ページに、宛名のお子さんご本人に回答していただくアンケートがありますので、引き続き、ご協力お願いいたします。

宛名のお子さんご本人へ、放課後の過ごし方を直接うかがいます。

問19(問19-1～問19-6)については、宛名のお子さんが、放課後をどう過ごしているかを、直接うかがいますので、宛名のお子さんが、アンケートにお答えください。(お子さんが低学年の場合や、質問が分かりにくい場合には、保護者の方が質問文の説明など、回答の補助を行ってください。)

問19-1 あなたの^{おし}ことについて教えてください。

学年の【 】に^{がくねん}数字^{すうじ}を書いてください。

また、性別^{せいべつ}の数字^{すうじ}どちらかに、○をしてください。

学年(がくねん) 【 】年生(ねんせい)

性別(せいべつ) 1. 男(おとこ) 2. 女(おんな)

問19-2 学校^{がっこう}が^お終わった^{あと}後、何^{なに}をして^{あそ}遊ぶ^{あそ}ことが^{おお}多い^{おお}ですか。

当^あては^あまる^あもの^あす^あべて^あの^あ番^あ号^あに○^あをつ^あけ^あて^あく^あだ^あさ^あい。

1. 外(いえいがい)で^{あそ}遊^{あそ}んでいる
2. スポーツ^{かつどう}活^{あそ}動^{あそ}を^{あそ}して^{あそ}いる
3. 家^{いえ}で^{あそ}兄^{あそ}弟^{あそ}や^{あそ}家^{あそ}族^{あそ}と^{あそ}遊^{あそ}んで^{あそ}いる
4. 家^{いえ}で^{あそ}ひ^{あそ}と^{あそ}り^{あそ}で^{あそ}ゲ^{あそ}ー^{あそ}ム^{あそ}な^{あそ}ど^{あそ}を^{あそ}して^{あそ}いる
5. その他()
6. 習^{なら}い^{あそ}事^{あそ}や^{あそ}塾^{あそ}な^{あそ}ど^{あそ}で^{あそ}遊^{あそ}ぶ^{あそ}時^{あそ}間^{あそ}が^{あそ}な^{あそ}い

問19-3 家^{いえいがい}以^{あそ}外^{あそ}で^{あそ}遊^{あそ}ぶ^{あそ}場^{あそ}合^{あそ}、^{あそ}ど^{あそ}こ^{あそ}で^{あそ}遊^{あそ}ん^{あそ}で^{あそ}い^{あそ}ま^{あそ}す^{あそ}か。

主^{おも}に^あ当^あて^あは^あまる^あ番^あ号^あを^あ1^あつ^あ選^あん^あで^あ、^あそ^あの^あ番^あ号^あに○^あをつ^あけ^あて^あく^あだ^あさ^あい。

1. 学^{がっこう}校^{がっこう}
2. 反^{とも}だ^{あそ}ち^{あそ}の^{あそ}家^{あそ}
3. 公^{こうえん}園^{こうえん}
4. 児^{じどうかん}童^{じどう}館^{じどう}・児^{あそ}童^{あそ}セ^{あそ}ン^{あそ}タ^{あそ}ー
5. 放^{ほうかごじどう}課^{あそ}後^{あそ}児^{あそ}童^{あそ}ク^{あそ}ラ^{あそ}ブ
6. 放^{ほうかごこ}課^{あそ}後^{あそ}子^{あそ}ど^{あそ}も^{あそ}教^{あそ}室^{あそ}
7. その他()
8. 決^きま^{あそ}っ^{あそ}て^{あそ}い^{あそ}な^{あそ}い

問19-4 児童館を知っていますか。

当てはまるものを1つ選んで、その番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 知っていて、よく行っている | 2. 知っているが、あまり行っていない |
| 3. 知っているが、家の近くにない | 4. 知らない |

問19-5 今住んでいる近くに、遊び場が多いですか。

当てはまるものを1つ選んで、その番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------|
| 1. 多い | 2. どちらともいえない |
| 3. 公園などはあるが遊びができない | 4. 少ない |

問19-6 家の近くにあったらよいと思う遊び場などはありますか。

当てはまるものすべての番号に○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. ジングルジムやブランコなどの遊具がある公園 |
| 2. 子どもどうしの仲間づくりのためのサークルやクラブ活動ができるところ |
| 3. ボール遊びができるところ |
| 4. 子どもが放課後などに集まって、子どもどうしで自主活動などができるところ |
| 5. いろいろな本などを読むことができるところ |
| 6. 遊ぶ道具があり、遊び方を教えてくれる先生のいるところ |
| 7. 学年が違う友達どうしが交流できるところ |
| 8. 自分の悩みなどを聞いて相談にのってくれられるところ |
| 9. その他 () |
| 10. 特にない |

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。